



平成 24 年 3 月 5 日

各 位

会 社 名:東京エレクトロン株式会社
代表者名:代表取締役社長 竹中 博司
(コード番号: 8035 東証第 1 部)
問合せ先:総務部長 前島 裕紀
(T E L 03-5561-7000)

Oerlikon Solar 社買収についてのお知らせ

東京エレクトロン株式会社（東京都港区、社長：竹中 博司）は、OC Oerlikon 社（スイス、CEO：Michael Buscher）と、OC Oerlikon 社の 100%子会社である Oerlikon Solar 社（スイス、CEO：Helmut Frankenger）の株式譲渡契約を締結しましたのでお知らせいたします。

東京エレクトロンは、2009 年より、Oerlikon Solar 社のアジア・オセアニア地域の販売代理店として、薄膜シリコン太陽電池用一貫製造ラインの販売・マーケティングを行ってまいりました。この度、Oerlikon Solar 社の買収により、変換効率向上と生産コスト低減を両立させる同社の優れた技術力と、東京エレクトロンが培ってきた製造装置技術およびフィールドサービスの対応力とを融合させることによって、従来とは異なる枠組みで相乗効果を発揮することができると判断しました。

太陽光発電においては、グリッドパリティ^{※1}の達成がいよいよ現実的になりつつあります。コスト競争力があり、地球上の広範囲において大きな実発電量が得られる「薄膜型太陽電池」のニーズは今後世界的にさらに高まることが期待されています。

東京エレクトロングループは、「技術で環境問題に取り組む」という信念のもと、太陽電池製造装置事業を半導体製造装置事業、FPD 製造装置事業に次ぐ当社グループの第 3 の柱にするべく強化しており、この買収を機に、その実現に向けた取り組みを一層加速していきます。

なお、本買収に関しましては、株式譲渡に関する詳細事項について調整の上、行政許認可などの諸手続を経た後に株式取得し、クロージングとなる予定です。また、当社の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、業績見通しに影響がある場合は適時開示いたします。

※1 再生エネルギーの発電コストが既存の電力の価格と同等になること



【Oerlikon Solar (エリコン・ソーラー) 社について】

本社所在地：スイス

拠点： 世界 8 拠点

従業員数： 675 名

売上高： 254 百万スイスフラン (2010 年 12 月期)

量産用薄膜シリコン太陽電池モジュールのターンキー製造ラインで高い実績をもつ世界トップクラスのメーカー。顧客の工場では合計 870MWp の生産能力のあるラインが稼働している。

最新のターンキー製造ラインである第 2 世代「ThinFab™」は、低コスト・高品質で持続可能な太陽電池モジュールを製造することができ、従来の概念を変えた。新設計では、1 ドル/Wp まで太陽電池モジュールへの設備投資額を減少させることができ、このことは、2009 年時点より太陽電池モジュールにかかる設備投資額が半額になったことを意味する。顧客はこの新しい製造ラインを使って、約 0.5 ドル/Wp で優れた薄膜シリコンモジュールを製造することが可能となった。

エリコン・ソーラー社 HP : www.oerlikon.com